

雨にも負けず勇敢な戦い 柘原地区郷土伝統行事「おろごめ」



1 / 「おろ」の中でもみくちやになる子どもたち 2 / 子どもたちを見守るたくさんの見物人 3 / 記念撮影（午前6時、お疲れ様でした）

6月2日、柘原地区郷土伝統行事「おろごめ」が同地区公民館下の海岸で行われました。400年以上続く行事で、柘原小学校全児童が参加しました。早朝に裏山に登り、安全祈願した後、海岸で小学6年生の親頭役が、子頭役の子どもたちを砂浜に掘った「おろ」と呼ばれる砂の囲いから引きずり出す激しい戦いが繰り広げられます。当日は、あいにくの雨となりましたが、子どもたちの勇姿を見物に、たくさんの方々が集まりました。あまりの激しい攻防に泣き出す子もいましたが、最後は、さすがに笑顔で今年のおろごめを締めくくることができました。

6月6日、鹿屋税務署から垂水市へ感謝状が贈呈されました。これは、今年度から行われている確定申告書等のデータ引継の取組に贈られたものです。データ引継とは、市の申告相談会場で作成した確定申告書等を専用回線を使い、税務署へ直接送信するもので、このデータ引継の利用により、申告者は、申告時の書類の添付の省略、所得税の還付金の早期受取り、課税事務の効率化が図られます。今後も、申告者の利便性の向上のため、取組を推進してまいります。



▲左 / 鹿屋税務署：板橋和徳署長

鹿屋税務署から
垂水市へ感謝状

垂水地区金融機関防犯協議会 新入学児童へ防犯グッズ贈呈



▲左 / 垂水地区金融機関防犯協議会：今辻雅朗会長

6月5日、市民館で垂水地区金融機関防犯協議会から新入学児童への防犯グッズ贈呈式が行われ、市内8小学校の新入学児童88人分の防犯グッズが手渡されました。この防犯グッズは、不審者に遭遇したときの対処法である「いかのおすし」がプリントされたクリアファイルと鉛筆で、各小学校を通じて、新入学生にプレゼントされました。

※「いかのおすし」とは

- ①いかない、②のらない、③おおきなこえをだす、④すくにげる、⑤しらせる
- の頭文字をとった防犯標語です。

5月25日（土）、垂水おもてなし少女・少年隊結団式が開催されました。この活動は、ボランティア活動や地域行事、研修会への参加を通して、垂水の市勢・自然・観光・文化・歴史などを学び、おもてなしの心を持つこと、また自分から進んで物事に取り組む態度や思いやりの心を持つことを目的としたものです。今年度の隊員は、垂水市内の小・中・高校生合わせて19名。団長の上原愛子さん（垂水高校3年生）を中心に元気に活動を行ってまいります。



垂水おもてなし
少女・少年隊結団式

安山正人さん 危険業務従事者叙勲



5月21日、第32回危険業務従事者叙勲により浜平地区在住の安山正人さんが瑞宝双光章を受章されました。安山さんは陸上自衛隊に約37年勤務され、その功績が称えられました。安山さんは「自衛隊での勤務を評価いただき、大変うれしく思います」と話されました。